

活動報告

団体名	NPO 法人子育て支えあいネットワーク満
活動名	川崎市内（主に高津区）の被災者のための生活必需品提供活動
活動期間	2019/10/14～2019/11/20
活動の成果	<p>被害を受けたご家庭のお子さんを対象とした一時保育（無料）、幼稚園への絵本の寄付、被害に遭われた方が必要としている物と、提供してくださる方とのマッチングができる Amazon wish リストを利用した寄付、衣料無償提供の窓口、その他にもおんぶ紐のお届けなど必要な活動を行いました。</p> <p>今回の災害ではたとえ同じマンションに住んでいても、1階で浸水被害を受けた方と2階以上にお住まいの方で被災状況が全く異なる状況でした。浸水被害を受けた方は地域の中でも少数だからこそ、「助けて」と言いづらい状況がありました。一方、被災を免れた大多数の方の多くが、何らかの支援に動きたいと考えていましたが、だれがどんな支援を望んでいるのか、非常につかみづらい状況だったように思います。今回支援に動いた際、被災者のニーズが当初非常につかみづらかったのですが、被災者のニーズを拾ってくださったのは、自身も被災しながら、近隣の、さらに大変な状況の被災者に寄り添っていたキーパーソンの方たちでした。この方たちが支援の中継ぎをしてくださったおかげで、多くの方に支援を届けることができました。Facebook を中心に支援に動いたことで、同じ地域に住む多くの方たちが寄付やボランティアとして力を貸していただきました。被災者の方からの感謝の声だけでなく、「ただ無力感を感じていただけ、自分にもできる支援があると分かり、勇気づけられました」と、複数の支援者の方からもメッセージをいただきました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>台風 19 号の被害を目の当たりにして、NPO のメンバー同士、「何かしなくては」との思いが先行して、後先考えずに動き始めていました。その結果、今回の活動を通して、地域の被災者と支援者をつなぐ活動ができたと感じています。多くの方が善意でボランティアとして動いてくださったり、物品を寄付して下さったりしました。ただボランティアコーディネーターや実際の保育スタッフ、連絡担当者、仕組み作りを行うスタッフ等の負担が当初の想定より大きく、NPO として最低限の人件費を支払うことを決めました。チラシの作成費や印刷代、場所代など、どうしても必要な費用負担も出てきて、NPO の持ち出しが膨らんでしまったことから、今回ご寄付を通じて活動できたこと、非常に助かりました。この度はありがとうございました。</p>